

## 日本サーバス近畿支部 2007年7月(夏号)

暑中お見舞い申し上げます。近畿支部長

7月14日の夕方から京都の賀茂川沿いのお食事どころで例会が行われました。当日は残念ながら台風が接近下、当日になってキャンセルせざるを得ない方もおられ、皆様全員にお目にかかるのを楽しみにしていたのに残念なこともありました。また、京都は祇園祭の宵々山でしたが、悪天候のためにほとんど楽しむことが出来ずに残念でした。しかし、宴は皆様の話しのはずみ具合と同様にゆっくりと盛り上がり、親睦を重ねられたことが収穫でした。初めてお会いする方、しばらくぶりの方とご自分の輪を広げていただいたこととぞんじます。また、日本の芸能文化の一端を紹介する京都の観光事業の一つである「祇園コーナー」のDVDをメンバーの西村様より参加者の皆様に配布いただきました。韓国のオム様は旧来の知人である青木様との再会を楽しまれ、お忙しい青木様もわざわざご出席されてお二人は話が盛り上がりました。オム様からは全員に韓国のお土産をいただきました。また、サーバス日本のHPに西山会長から新メッセージが届いています。どうか一度目をお通しください。

### 例会のご報告

- 1. 出席者、お客様：**釜山からの2名様、大分からのY様、関東支部のT様、京都のO様。近畿支部会員：10名、計14名
- 2. 報告：**例会の回数が年間4回となりました。次回10月例会は大阪のハービス大阪で、10月6日(土)、午後6時より8時までとなりました。また、会場の地図はまたご案内する計画です。それから、来年の全国大会会場は未定です。
- 3. 活動報告：**水野様—東海支部の1泊例会に出席されて、時間的な余裕が会員間の親睦と相互理解を促進する要素のひとつであると実感された。東海支部の和やかな雰囲気と楽しい会合は例会への参加が増えて意味のあるものになっているようです。ですから、近畿支部も時間に余裕のある例会をすることもいかがですか、と提案されました。
- 4. 富岡様—**アメリカでのインタビュー、DVDでのご報告。サーバスの設立者であるBob Luitwieler氏の現状へのご意見と今後の見通しと希望を18分くらいにまとめられて見せていただきました。富岡様はこれをもっと長いものにして今後皆様にお見せできるものにするようです。
- 5. 会員(釜山)のご挨拶：**韓国サーバスは長年待ち望んでいたN G O団体になったという報告をうけました。韓国サーバスはこれにより、公的、私企業からの援助などかなり活動が広範囲にできるようになると思います。日本サーバスも今の組織を改善と拡大し、そしてサーバスの目的にあった動きができるように支部会員の皆様のご協力と熱意がいただけたらと思います。その結果として、極東アジアのサーバスグループの一員として国単位の協力と

相互理解もより促進されることを願っています。

## 新入会員（4名）のご紹介

滋賀県大津市 DH、奈良市 H、八尾市 H、高石市 DH（約一年間の世界旅行に出発されました）

4月以降のトラベラー/受け入れ報告：水野勇司様のニュージーランド報告、岡部節子様ベルギー人の受け入れ報告、さらに特別報告として5月の連休中に青木様の滋賀県の別荘で行われた草刈を兼ねた私的なバーベキュー会のご紹介をいたします。

## トラベラー報告－1

## 会員 M

黄葉が美しいニュージーランドを訪れサーバス2家庭を訪問しましたので報告します。

（2007年4月23日～4月27日）

### オークランドのBさん宅

メールで自宅付近の地図を送ってもらっていたのですごく簡単に行けた。空港からリムジンバスで約25分。約190円を乗車する時に支払う。乗車するとすぐのところに荷物を置けるようにスペースが確保されている。中央より後部が座席になっている。乗るときに運転手にバス停の名前を言っておいたので親切に教えてくれた。バスの中にはまるでツアーリストのように観光用のパンフレットが壁に掛けられている。

バス停で下りると目の前に小粋なレストランが目に入った。幅広い歩道の半分はテーブルと椅子に占領されている。みんなゆったりとコーヒーを楽しんでいる。

バス停から2分のところにBさん宅がある。当初、市内見学をしてからBさん宅にお伺いする予定であったが、荷物を置いてから観光に行つてはどうかと親切に言っていただいたのでお言葉に甘えて荷物を置かせていただくことにした。ゆったりとした歩道をすすんでいくとBさんの家に到着した。300坪はあると思われる敷地に2階建ての家があった。道路から家に着くまで両側には木が植えられており30mほど歩いていったところに玄関がある。

ホストのBさんが出迎えてくれた。気さくで大変、親切な方だった。明後日にカウエラウまでバスで行きたいと言ったらバス会社まで電話して予約を取ってくれた。荷物を置かせていただいて早速、近くの郵便局へバスの代金を支払う為に行った。郵便局の場所はあらかじめ地図で教えていただいていたが現場へ行ってみるとなかなか見当たらない。日本のような郵便局をイメージしていたのが間違いだった。コンビニのような店の奥のところに職員が2名いて切手を売ったりしている。看板も小さくてわかりにくかった。だが、大変、合理性を感じた。

### オークランドの街

B氏宅の近くのバス停からバスで街の中心まで約10分。車窓から外を眺めていると本当に緑が多いなあと感じた。高層ビルの中にスカイ・タワーが見えた。328mの塔である。展望台まで登ってみた。220mのスカイデッキ

からの展望は素晴らしかった。192mの専用デッキから時速75kmのスピードでバンジージャンプできる。「ラスト・サムライ」の撮影のために来ていたトム・クルーズが何回もトライしたよ、貴方もしたらと進められたが私にはがととてもする勇気がなかった。

オークランドは船のよく似合う都市だ。豪華客船が停泊していた。国立海洋博物館に寄ってみたが残念ながら閉館時間が近づいていたので入ることは出来なかった。

### 美味しい食事

B氏の家へ帰って暫くすると奥さんが仕事から帰ってきた。聡明な方だった。オペラ音楽のCDを聴きながらトマトで作ったサラミのようなものをビスケットに載せこれをアテにニュージーランドの美味しいワインをいただいた。最高に気分がゆったりとした時間が過ぎて行く。今度はダイニングルームに移り、20個ほどの蠟燭に日を灯し食事が始まる。彼らはバジタリアンである。どの料理も材料が吟味されており美味しかった。昔、宇治の万福寺で普茶料理を食べたことがあるがそれに匹敵するくらいの味であった。バジタリアンとはかくも高級な料理とは認識を新たにした。

### アンザックデー

4月25日はアンザックデーである。朝、5時起床。コーヒーとビスケットの簡単な食事を済ませて車で会場の近くまで行きそれから真っ暗な中を20分くらい歩いた。沢山の人が会場に向かって行く。南半球の美しい星空の下で式典が始まる。ANZAD DAYとはAustralia and New Zealand Army Corporationの略でオーストラリア軍とニュージーランド軍が協力してヨーロッパのアンザック地方に上陸した日を記念した戦争記念日である。全国各地で式典が行われるが、ここオークランドでは記念館前に約5万人が集まって式典がおこなわれた。太陽が東の方から昇り始め空の青さが目に入るまで式典は厳粛に執り行なわれた。

### 自然を大切にする国

ニュージーランドに来て一番びっくりしたのは木を大切にするということです。道路にはみ出た大木はいたるところで見られます。植林してその木が大きくなるまで大切に育てるやさしい心を感じました。日本だったら少しでも木が道路にはみ出していようものなら即、道路管理者に苦情の電話が入るところですがニュージーランドではそんなことは考えられない。B氏の家でもそうであった。フィシャー（キューイのような実がなりジャムにするととても甘くて美味しい）という隣人が所有する木がはみ出していてその実がB氏の庭に落ちている。それを拾い朝食でいただいた。バナナの木もはみ出していた。今日は午前中B氏が庭の木を剪定するのでそのお手伝いをした。一輪車で枝葉の運搬で結構、汗をかいたが気持ちが良かった。

### 恵まれたシルバー施設

B氏の伯母さんW氏が夕食に招かれてやって来た。87歳というのに眼鏡も補聴器も要らない元気なおばあさんだ。オペラが大好きで色々詳しく解説してくれた。老人ホームまでB氏の車に乗せてもらって彼女を送っていった。老人ホームの彼女の部屋を見せてもらった。ホテルのように美しく清潔な部屋で一人住んでいる。次の週末にはB氏夫妻と一緒にコンサートに行くらしい。周りにこのように親切にしてもらえる人がいるW伯母さんが羨ましく思った。

## カウエラウのP氏宅

オークランドから南東へバスで5時間半のところにかウエラウという町がある。人口3000人ほどの小さな町だが自然に恵まれた美しい住みよいところだった。Bさん夫妻はマオリ カップルである。毎年、3月には日本から中学生を2週間ステイさせる組織に入っておられ活動しておられる。お二人も一昨年受け入れた3家庭を訪問するために日本へ行かれたことがある。奥さんは大変、朗らかな人で3分に1回の大爆笑でお腹の皮が緩みっぱなしだった。約300坪の敷地に瀟洒な家が建っている。敷地の一角には大きなボートが置いてあった。ご主人は魚釣りが好きでよくファカタネという港まで魚つりにいくらしい。日本ではアウトドアライフを楽しむ家庭が増えましたがニュージーランドではその層の厚さを感じました。なにしろ8時間労働を世界で一番最初に取り入れた国だからです。彼の家のポーチのところに2台の車が入られる大きなガレージがあり、よく手入れされた美しい庭がある。今住んでおられる家は20年ほど前に780万円で買ったが今では1800万円すると言っておられた。日本では想像も出来ないくらい土地が安価である。

## 考えられないほどの大家族

ご主人の兄弟は8人、姉妹は8人、計16人。奥さんは3兄弟6姉妹計9人。2人の間に生まれた息子は3人、娘は3人、計6人。あまりの大家族にびっくりしてしまった。子供さんはそれぞれ独立され今は2人で住んでおられるが誕生日などで家族みんなが集まると本当ににぎやかだと言っておられた。マオリでは21歳を迎えると両親に「額」を送るのが慣わしになっている。Pさんの家の壁には6人の子供から送られた「額」が掲げられている。それぞれの仕事に関係するモチーフを題材にしたレリーフである。7色に輝いた貝を使って見事に作られていた。

## 美しい避暑地

P氏の家から35kmほど行ったところにファカタネという街がある。海岸からすぐの所に高級別荘地がある。車で連れて行って貰った。1週間に1回モーターボートをここまで運んで魚つりを楽しむらしい。レストランで美味しい魚料理をご馳走になった。レストランで働く人の中にはポリネシア系も多い。ニュージーランドの民族構成はヨーロッパ系が75% マオリが約14% ポリネシア系が約5% アジア系が約6%である。

ファカタネは夏がよく似合う町だと思う。次回来るときはゆっくりとヨットにも乗ってみたい。

## 誕生パーティ

奥さんの従姉妹の誕生パーティがロトルアであるので行かないかと誘われた。レストランを借り切ったの盛大なパーティであった。彼女の名前がワカという。日本ではワカとは若いことだと説明すると大変喜ばれた。親戚の人は皆朗らかで楽しい人ばかり。マオリでは鼻と鼻をくっつけるのが正式な挨拶であるがそれを知らなかったため、大変失礼した。

B御夫妻はバス停まで見送りにきてくれた。恐縮したが本当に嬉しかった。

## ニュージーランドのサーバス

ニュージーランドのサーバスの会員は2006年現在で394人いる。人口が約374万人だから百万人に対して105人のサーバス会員がいることになる。(日本は308人だから百万人に対して2.5人の会員がいることになる)このことからニュージーランドは如何に会員が多いかがわかる。

ニュージーランドではリストにも注意書きがなされているが1泊だけのステイは許されない。確かに、1泊だけでは十分な話あいなど出来ないのが当然なことである。2泊することが条件とされている。

### 楽しかった旅行

今回はたったの5日間の旅行であったため南島は行けなかったが次回は行きたい。サーバスの会員であるがため本当に思い出の多い旅行が出来た。2家族には心から感謝申し上げたい。ニュージーランドの豊かな生活と自然が気に入った。必ず再度訪問したい。

この旅行のことで色々とアドバイスしていただいた支部長、面接をしていただいた面接担当者に心から感謝申し上げます。



### 初めての受け入れ（フランス）と渡航（アメリカ）の経験 会員 S

昨年、フランスから来た高校の英語教師2人の受け入れが最初の体験でした。

彼女たちは4泊していきました。当初は2泊の予定でしたが、2泊目の時、「明日は何処へ行くの?」「京都」「泊まる場所は決まってるの?」「いいえ。」「京都は近いから帰っておいで。泊まっていいよ。」「でも、2泊が・・・。」「かまわないよ。」

次の日「明日は何処へ行くの?」「姫路城」「泊まる場所は?」「まだ決まってない。」「じゃあ。帰っておいで。日帰り出来るから」と言うことで4泊になった。

一日は友達といっしょに4人で奈良の灯籠祭りへ行った時などは、「そろそろ出発だから、着替えて」「う? このままだよ?」「え! それは日本ではスリーピング ウエアだよ!」だって、薄手のキュロットにTシャツ。

フランス人というので、どんなおしゃれな人かと思っていましたが、イメージと大分違って・・・。

思わず、爆笑の連続でした。来年は彼女たちに会いたいと思っています。

彼女たちのたくましさに関心してしまいました。JRの乗り放題チケットで日本中廻っていましたから・・・。

この春、アメリカはオレゴンのポートランドへ3泊の滞在をしてきました。

この時もアメリカに行ってから3泊の滞在が決まりました。

私は1, 2泊を予定していたので、ノートパソコンで現地ツアーをいろいろ探して申し込みました。初めてのサーバス滞在でチョット不安もあったので、だいたいどの辺かマップで家を探したのですがブッシュばかりで家らしいものは見えなかったのです。家に着いて納得でした。まさに森の中の家でした。奥さんのジョイスさんは大学の数学の教授ですが、ラマを20頭も飼ってセールもしていました。朝は、4, 5頭ずつ家の周りを30分ぐらい散歩に行くのを手伝いました。また、10人くらいもの里親にもなっている人でした。ご主人は体格のいい方で、一日中大型PCモニターに向かって仕事をしておられました。ここでは、半日ツアーや彼女の大学の近くを散歩したり、美術館へ行ったりしました。ご主人と奥さんが連絡しあって車で送ったり、ピックアップしてもらってとても助かりました。ホームステイは何度も経験していますが、今回はひと味違った面白いお宅でした。オレゴン自然が美しく治安も良いところで、またいきたいところでした。今年のアメリカ旅行は、知り合いの家、サーバス、モーターといろいろ滞在スタイルを代えての旅行で、チョット冒険でしたが楽しかったです !!!

## 受け入れ報告 1 「海外サーバスメンバーが我が家へ来る」

会員 0

先月5月26, 7日、ベルギーからのサーバストラベラーをホストしました。

私にとってははじめての経験でした。1年をかけての「世界旅行」の最終編だったようですが、昨年12月にはニュージーランドにいたそうで、ニュージーランドの共通の印象などを画像を見ながら楽しみました。ベルギーの各地方の問題や日本の今の問題も話題になりました。2人は我が家からインターネットにアクセスして、「2人のせかい旅行」のホームページも書き込み結構いそがしそうでした。またインターネットを通じて選挙を前にして、選挙の争点を調べるアンケートに答えたりして、国外からの投票に備えていました。税金の申請とその確認も父親から書類を添付してもらって点検していました。

ドクター称号を持っている男性の方は、オランダ語、フランス語、英語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、アラビア語などを話すことが出来、その語学の実力を駆使して旅行を楽しんでいる様子でした。羨ましい。日本の平和憲法を変えようとしている動きから「国民投票」の話から、選挙の投票は「義務」で、棄権するには罰則があると聞き、これなら人々が政治に関心を持っている大きな理由だと思いました。また税率が50%というのは日本人にとっては全く驚くべきことでしたが、税金を払っても、払うだけであまり恩恵を受けている実感がない私にとっては、「払ったからには、充分なことをすることを要求する」という姿勢を感じました。(いつも、駅までの道を歩きながら、日本の道を道路清掃車が走っていない現実には私はいつもヨーロッパの早朝4時半ごろに来る清掃車に感心していましたから。)

最初の日の午後7時15分に奈良駅で会い、我が家までの道中に興福寺や東大寺の夕景をみて、我が家での夕食となりました。翌朝は奥さんが、妊娠4ヶ月のためか、あまり気分が良くなって出発が10時半頃になってしまいました。日曜日なので人出が多いことを心配しましたが、東大寺を二月堂から案内して、彼らがゆっくり大仏殿見ている間、私は講堂跡で休むことにしました。昼食は私のお気に入りの和食中心のレストランに少し時間を外していきました。このレストランは私がいつも友達をつれていくレストランです。この後、民俗公園に古い移築建築を見に行き、帰ってからゆっくりしました。

2日目の夕食は、酢豚にしました。夜は、彼らの出身地のブルージュや私がいたイギリスの昔のアルバムを見

てくれて、台所にいる私に時々質問をしてくれるなど、ゲストマナーというのを感じました。翌日は平城宮跡に行き、午後からは用事がある私は、短い間のホスト経験を奈良駅で終わりました。

サーバスのメンバーは、ホントに知的だな、と思いました。また妊娠しても旅を続けるということや、男性の方が女性の荷物も引き受けて、体の前後に大きなバックをかついでいる姿は、頼もしくも、愛情深いカップルなんだな、とうらやましかったです。

いつかブルージュを再訪してみたいです。

P S : 京都の諏訪宅でもこのトラベラーを受け入れしました。

## 草刈りバーベキュー大会

2007年5月4日 名誉会長

ゴールデンウィークど真中の5月4日(金)、琵琶湖西岸大津市南比良にあります私の別荘に沢山の方々が集まって頂き、草茫茫の庭をきれいにして下さいました。夕方には近所の温泉で汗を流した後、盛大なバーベキュー大会となりました。庭のあちこちに電燈をぶら下げ、椅子やテーブルをかき集めて何とか皆さんに座って貰い、私の娘婿が腕をふるって炭火で本格的なバーベキュー。たっぷり飲み、たっぷり食べて、夜遅くまで皆元気に楽しく騒ぎました。皆さん、本当にご苦労様。出席者は13名と我が家の一族郎等全員(9名)。

## 編集後記

今年は梅雨が長かった分急に猛暑の夏がやって来たようです 都会では昼もクーラーでしょうが 我が家ではめったに使いません もっぱら家の中では究極のクールビズであるステテコ姿が似合います

さて今年度夏号また遅れました ぴんときませんが世間では既に立秋とか 何とか猛暑のうちに UP 出来そうなのでお許してください ほとんど出来上がった状態で原稿を頂きましたので私は何もしていませんが それなりに時間が掛かるものですね 暑い夏大いに楽しみましょう。(T)